



令和8年 異常渇水への対応について

令和8年3月24日
第2回 高知市上下水道事業 経営審議会

昭和62年の運用開始以来、初めて貯水率が0%を下回った大渡ダム（令和8年2月6日撮影）

1-1. 本市の水道水源について

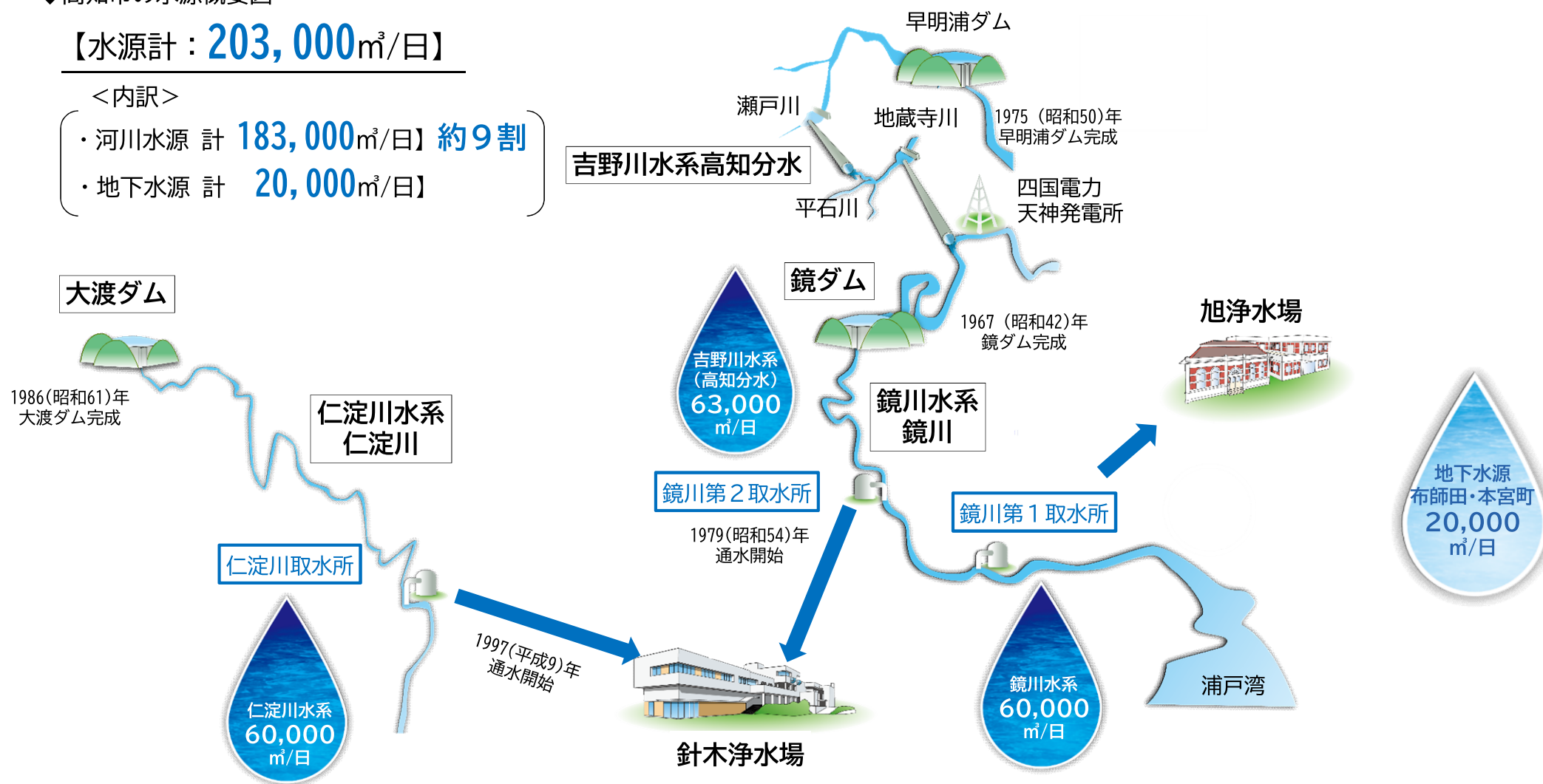
- 仁淀川、鏡川、吉野川水系高知分水、地下水源（布師田・本宮町）をあわせて**203,000m³/日**（うち河川水源9割）の水を確保
- **水系の異なる水源**であるため、**渇水に強いことが特長**

◆高知市の水源概要図

【水源計：**203,000m³/日**】

<内訳>

- ・河川水源 計 **183,000m³/日** **約9割**
- ・地下水源 計 **20,000m³/日**



1 - 2. 異常渇水による仁淀川及び鏡川の取水制限について

- 昨年11月から本年1月にかけて、**降水量が平年の3割以下**の状態が続き大渡ダムと鏡ダムの貯水率が大幅に低下
- 昨年12月上旬以降、**自主節水や取水制限を段階的に強化**し、**ダムの枯渇するタイミングの先延ばし**を図ってきた
- しかし、その後も渇水状態は続き2月9日には、取水制限（節水率）のピークとなる**仁淀川50%、鏡川60%**にまで強化された

◆河川の取水制限（節水率）の状況

（単位：％）

仁淀川（大渡ダム）				鏡川（鏡ダム）			
取水制限	吾南	鎌田	上水	上水	農水	工水	取水制限
12/25～ 第1次節水	30	30	0				
1/ 5～ 第2次節水	50	50	20	45	45	78	1/ 7～ 第1次取水制限
1/ 9～ 第3次節水	65	65	30				
1/16～ 第4次節水	65	65	45	50	60	80	1/22～ 第2次取水制限
1/24～ 自主節水	92.8	92.8	50	55	70	83.3	1/29～ 第3次取水制限
				60	70	83.3	2/ 9～ 第4次取水制限
				40	30	80	3/ 2～ 第5次取水制限（緩和）

段階的に強化

仁淀川からの取水が本格化して以降、

仁淀川と鏡川の取水制限が**同時に50%を超える**のは、初めて ➡ **災害級の異常渇水**

2-1. 異常渇水への取組（第1次給水制限）

上下水道局による運転管理の工夫

- 既存の**地下水源**の**取水量を増量**（平常時の**約2倍**）
- 渇水などの**非常時の対応のために確保した「予備能力」**を活用し、旭浄水場と針木浄水場で作られた水道水が十分に給水エリアに行きわたるよう細やかに**浄水量を調整**

地下水源



布師田水源



本宮町水源

地下水源の**増量運転**

給水エリア

針木浄水場

旭浄水場

予備能力

浄水場間の**浄水量の調整**

河川管理者や利水関係者との連携

- 河川管理者が開催する**渇水調整協議会**にて、
- 農業用水や工業用水など**利水関係者**と**緊密に連携**
- ダムの貯水量を確保するために、**自主節水等を実施**

それでも渇水は続き、

仁淀川の**大渡ダム**の貯水率が2月初旬に枯渇する見通しになったため、令和8年1月28日に仁淀川の河川管理者である国土交通省四国地方整備局に「**緊急取水（特例措置）**」を**要請**

➡ 1月31日にダムが枯渇したが、**一定量（通常の半分）の取水は継続可能**となった



利水三者による緊急取水の要請

2-2. 第1次給水制限（減圧給水）の実施

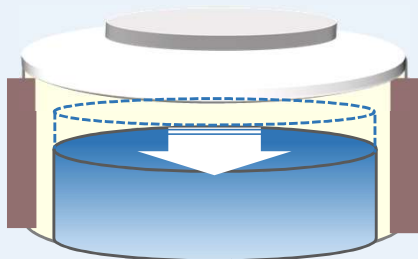
- 度重なる取水制限の強化により**水道使用量に対し供給可能量が低下**し、浄水場や地下水源の運転管理の工夫も**限界状態**
- **2月12日から3月2日までの19日間**にわたり**28年ぶりとなる第1次給水制限**を実施
- 具体的な給水制限の内容は、浄水場から給水している**水道水の圧力を下げる減圧給水**

旭浄水場の減圧給水内容

減圧作業①



水道水を貯める配水池
の**水位高を下げて減圧**



水位低下イメージ



減圧作業②

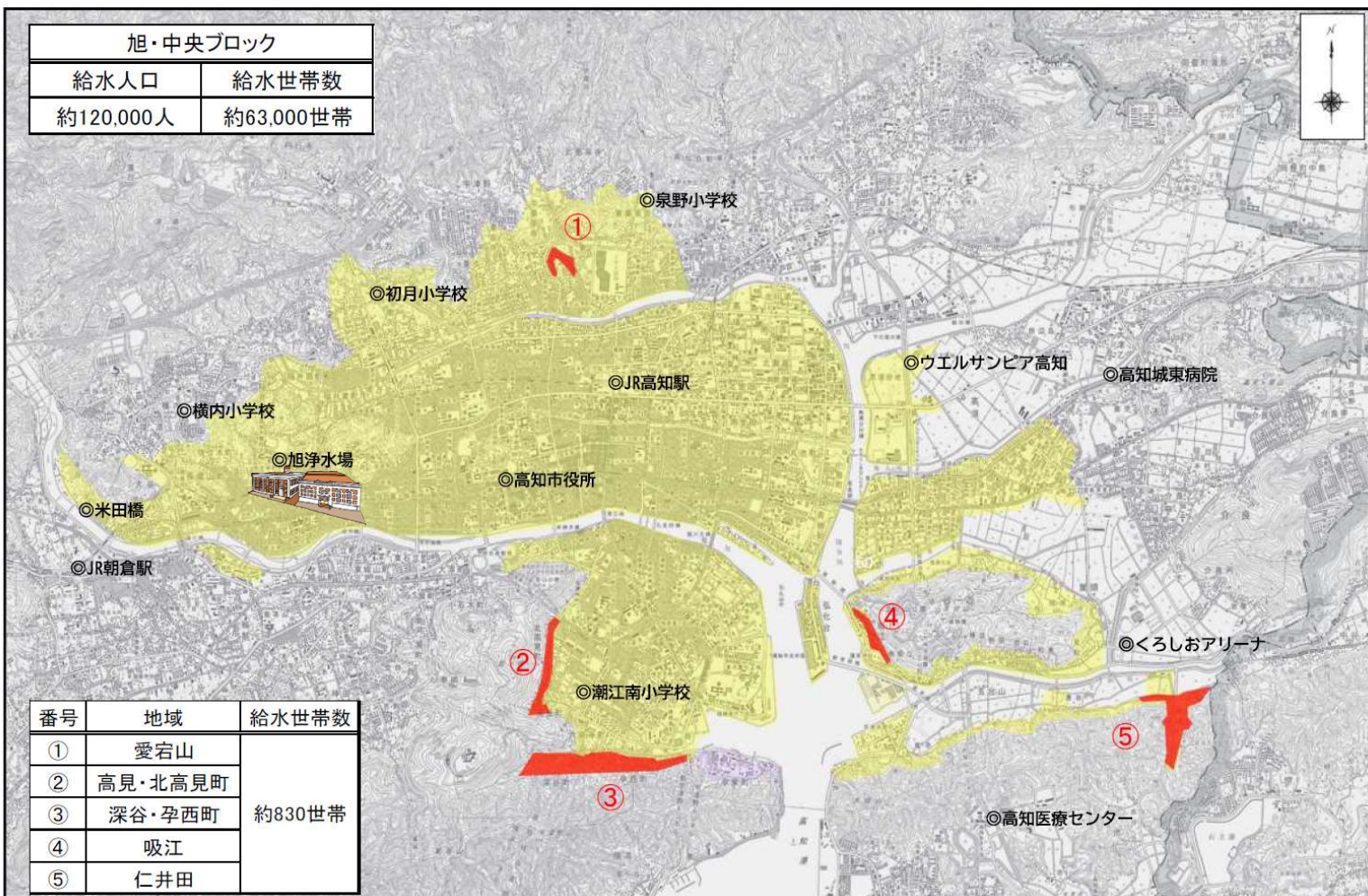


通常時 100%開
流量調整バルブの**開度を絞り減圧**

2-3. 第1次給水制限（減圧給水）による影響

- 下図の範囲（黄色）にある**4階建て低層マンション（4階部）**や、**高台**（下図の①～⑤）の**建物**では水圧が下がることで、**水が出にくくなる恐れ**があったため、対象エリア付近の**5箇所に応急給水栓を設置**

◆第1次給水制限の影響により、水が出にくくなる恐れがあった地域



応急給水栓の設置状況

応急給水栓は、消火栓などから直接、給水器具を取り付けて設置するもの

- 開設期間中は、**24時間利用可能**
※セルフサービス
- 利用の際は、**容器の持参**が必要



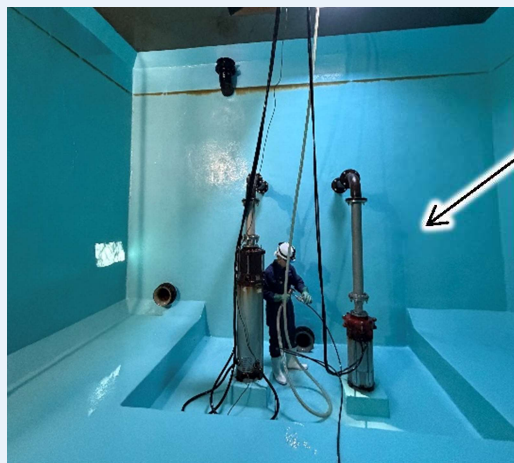
北竹島町に設置した応急給水栓

2-4. 節水の取組と市民への呼びかけについて

高知市の取組

- 【大量に水を使用する作業の一時見送り】
■ 配水池や水道管路の洗浄作業
- 公用車の洗車、消防局の放水訓練
- わんぱーくこうち アニマルランドの池の水の入替
- 【節水意識の啓発】
■ 庁内放送や職員情報共有システムへの全庁掲示
- 職員の節水徹底（手洗い、清掃等）
- 出先機関への節水啓発ポスターの掲示

水道施設の清掃作業イメージ



清掃作業を
一時見送り

市民への呼びかけ

- 報道機関への情報提供・取材依頼
- 大口需要家への対面による節水協力要請
- 局ホームページへの特設ページの開設
- 局Facebook、市LINEへの掲載

大型商業施設へのデジタル広告



特設ページの開設

【喝水に関する情報（特設ページ）】

喝水に関する情報

高知市内では昨年11月以降、平年に比べ降雨が極めて少ない状況が続いており、本市においても渇水の状況が深刻なものとなっております。渇水に関する情報につきましては、本ページからご確認ください。

給水制限等の状況

現在のところ、取水制限を実施している市内ダムはありません。

○ 第1次給水制限の開始に伴う影響と必要給水量の概要について【令和5年2月12日（水）】

市民の皆さまへのお願い

○ 節水へのご協力をお願いします！ ※節水啓発用ポスター添付

ダムの貯水状況（水源状況）

○ 新ダム（高知県水防情報システム） ※外部リンク

○ 大瀬ダム（高知県水防情報システム） ※外部リンク

お問い合わせ

渇水に関してご不明な点などがありましたら、以下のリンクから【よくある質問と回答】をご確認ください。

【よくある質問と回答】

2-5. 第1次給水制限中の供給可能量と基準供給量との関係

- 第1次給水制限開始前の実績供給量は概ね98,000m³/日
- 第1次給水制限中は市民による節水の取組などもあり実績供給量は概ね95,000m³/日に減少
- 実績供給量が供給可能量97,448m³/日を下回ったため、結果的に水量的に不足することはなかった

◆取水制限と供給（配水）可能量 (単位：m³/日)

水源の種類（浄水場）	基準供給量※	取水制限ごとの供給（配水）可能量		
		R8.1.29～	R8.2.12～ 第1次給水制限	R8.3.2～ 第1次給水制限 解除
		仁淀川 50% 鏡川 55%	仁淀川 50% 鏡川 60%	仁淀川 50% 鏡川 40%
仁淀川（針木浄水場）	60,000	30,000	30,000	30,000
鏡川第1（旭浄水場）	38,500	55,350	49,200	71,000
鏡川第2（針木浄水場）	500			
本宮町地下水源	3,550	7,000	10,000	3,550
布師田地下水源	4,450	13,000	13,000	13,000
計 （浄水ロス率を考慮し算出）	101,000	100,229	97,448	111,490
供給可能量／基準供給量（％）		99.2%	96.5%	110.4%

過去1年間の1日最大供給量(年末)を参考に算出

当初、第1次給水制限中は、供給量が不足する恐れがあった
➡ しかし、市民の節水の取組などにより水量的に不足することはなかった

3. 第1次給水制限の影響と渇水対応の振り返り

- 2月下旬のまとまった降雨により、大渡ダムと鏡ダムの貯水率が大幅に回復
- これに伴い3月2日の9時から鏡川の取水制限が緩和されたことから、第1次給水制限も同時刻に解除した
- 市民の節水の取組により水道使用量が一定程度、減少したことで水量的に不足することはなかった
- 減圧給水の影響も限定的であったため、市民生活への影響を最小限に留めることができた

◆第2回高知市渇水対策本部会（2月9日）以降の問い合わせ

◇ 市民からの問い合わせ件数：40件

◇ 問い合わせの内容

◇ 主な問い合わせ内容

- ・ 給水制限の範囲や影響を教えてください
- ・ 応急給水栓の場所を教えてください
- ・ 大渡ダムと鏡ダムの貯水率を教えてください
- ・ 水が出ない、出にくい（愛宕山、孕西町地区）

水の濁り	水の出が悪い	給水制限	応急給水	その他	計
0件	2件	29件	5件	4件	40件

今回の渇水対応を振り返って



高知市上下水道局 経営理念

市民生活への影響を最小限に留めることができた理由（強み）

- 水系の異なる3つの河川水源を有している
- 渇水など非常時のための「予備能力」を確保している（※ポンプの増台運転等）

仁淀川・鏡川・吉野川の自然の恩恵と流域の関係者らに対する感謝と今後について

今回の未曾有の異常渇水により、一時は市民生活への影響が懸念されましたが、市民の皆さまによる節水の取組と仁淀川・鏡川・吉野川流域の関係者をはじめ、国・県の河川管理者の皆さまのご理解とご協力により、影響を最小限に留めることができ深く感謝申し上げます。

水道通水100周年という節目を迎え、改めて自然の恵みに感謝する貴重な機会となりました。今回の渇水対応で得た教訓を生かし、これからも安全でおいしい水道水の安定供給に努めてまいります。